「デジタルアーキビストが意識するべきビジネスの可能性と求める人材像」

山川道子

株式会社プロダクション・アイジー yamakawa@production-ig.co.jp

2021年10月16日(土)

【予算に困ったときに考えること】

- ・経費を削減(収入を増やさずに予算を確保する)
- ・募金、クラウドファンディング(外部から資金提供を受ける)
- ・保管資料を利活用する(ビジネスで収入を増やす)

【ビジネス例】

モノを見せる:展示会

モノを売る:グッズ販売

データを売る:データ販売

※どれも専門企業と組まないと継続的な利益は産みづらい

【担当者が意識した方が良いこと】

- ①何が利益を生むかのリサーチを行うこと、クオリティの高い商品を開発・製造すること、 販売ルートにのせることなどは、本来のアーキビストの仕事では無い。
- ②売上げ金額よりも、活用が出来るチャンスがあるように見えることの方が評価される場合がある。
- ③ビジネス相手から求められるのは、早い>正確性>網羅性の順番である。

③ビジネス相手から求められるのは、早い>正確性>網羅性の順番である。

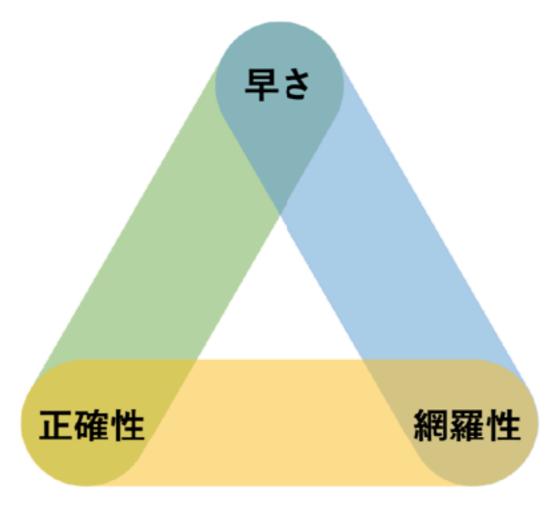


図 4 情報共有のトライアングル

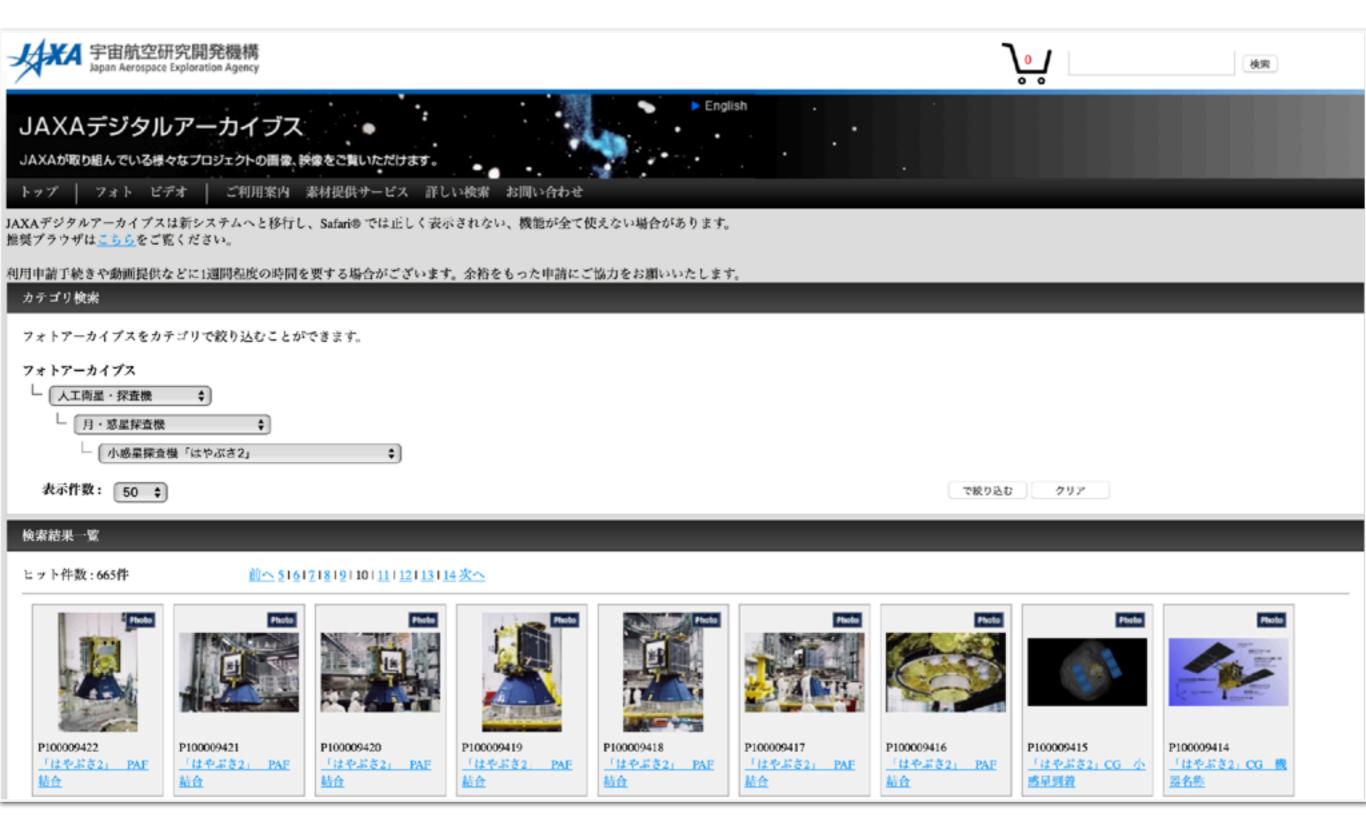
要するに、早さと正確性、網羅性はいずれか 2 つしか満たせないというものであるが、 改めて整理すると次のように言える。

引用元

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J) セキュリティ対応組織(SOC/CSIRT)強化に向けた サイバーセキュリティ情報共有の「5W1H」 https://isog-j.org/output/2017/5W1H-Cyber_Threat_Information_Sharing_v1.0.pdf

例)JAXA 宇宙航空研究開発機構

http://jda.jaxa.jp



例)JAXA 宇宙航空研究開発機構



サムネイルと高解像度画像あり、DLまでの手順が簡単である。

【デジタルアーキビストに求められること】

- ・依頼を受けた際に、最適なデータを最短で受け渡しするための方法を意識する。 Googleドライブ、DropBox、メール添付、HDD持ち込みなど
- ・他分野であっても、デジタルデータが活用されている対象を常にリサーチしておく。「駅にサイネージが増えてきた」「商品に二次利用画像が増えてきた」など
- ・活用された時の状態をイメージできること「印刷方法の種類」「モニターに表示された時のクオリティ」
- ・使用方法に合わせたファイルフォーマットが用意できること先方が使用している機材とソフトは何か?
- ・常にデータが健全に保管できる環境を用意すること 保管メディアの耐用年数、エラー排出数など

学会ニュース

産業とデータ・コンテンツ部会キックオフ連続フォーラム(第2回)

③ 2021/10/5 ♣ JSDA

第2回「商業アートコンテンツ展開のための基盤と見取り図」

- デジタルアーカイブ振興に関わる産学連携の在り方を検討するため本年4月に設置されたデジタルアーカイブ学会(JSDA)「産業とデータ・コンテンツ部会」では、今後の具体的な取組課題を明らかにするため、学会・産業界その他の関係者が集まり、共通認識を得る機会として、連続3回のフォーラムを開催することになりました。
- 第2回は、産業振興の主要テーマであるアート、エンターテインメント関連のコンテンツ展開をとりあげます。国内には膨大なコンテンツが存在しますが、一部を除いて、規格・権利・保存・公開・課金等の様々な整備の困難があり、商業アーカイブズを形成できていません。ここでは産業化・商業化を前提とした共有プラットフォームの構想に向けて、コンテンツ事業、およびそのトライアルに取り組む事業者の方をお招きし、コンテンツデータの制作・流通・管理保存のシステムと考え方、実施に伴う課題等を検討したいと思います。奮ってご参加ください。
- 1. 日時: 2021年11月4日(木) 15:00~17:00
- 2. 形式: ZOOMによるオンライン
- 3. プログラム (司会: 柴野京子上智大学准教授、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・ コンテンツ副部会長)
 - 1. ご挨拶と趣旨説明:黒橋禎夫京都大学教授、デジタルアーカイブ学会産業とデータ・ コンテンツ部会長 (5分)
 - 事例報告「集英社Comics Digital Archivesの事業展開」 岡本正史氏(集英社・デジタル事業部) (20分)
 - 3. 事例報告「アートコンテンツ活用の問題点」 太下義之氏(文化政策研究者、同志社大学教授) (20分)
 - 4. コメント (10分) 山川道子氏 (株式会社プロダクション・アイジー・デジタルアーカイブ学会理事)
 - 5. 一休憩(5分)—
 - 6. ディスカッション (30分+20分)
 - 7. まとめ (部会長・副部会長コメント)
- 4. 参加について
 - 対象者:デジタルアーカイブ学会会員、DAPCON会員、DARA参加機関、その他関係者
 - 定員:150名
 - 参加費無料(会員限定)